

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成31年4月10日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>ウォー!コミックス87 ピアスシリーズ549 性の劇薬</p> <p>平成31年3月5日発行</p>	<p>マニアックな内容であり、性器も修整されている。絵柄が淡白で卑わい感は少ない。しかし拘束された裸体のシーンが多く青少年への悪影響を認めない。指定該当</p> <p>絵柄はきれいで卑わい感は少ない。扇情的なスタートだが、結末はヒューマンな物語であり人格否定とまでは言えない。しかしカバーに薬物カプセルが描かれ薬物性交に無頓着と言わざるを得ない。性器の消しも形状のアウトラインを残す不十分さがあり、青少年に対する配慮に欠けている。指定やむなし。</p> <p>前半は器具が多く登場するものの、後半は恋愛ヒューマンドラマとなっていく。物語上性交シーンが必要なのは理解できるが、男性器の消し方が青年レベルでは甘い気がする。また、男性器の登場シーンも青年レベルでは多すぎると感じた。指定やむなし。</p> <p>男性器の消し方が輪郭あり形状がわかるものとなっている。拘束監禁や器具の使用もある。ストーリー上性交シーンが必要であることはわかるが、配慮不足は認めない。成人マークをつけてうるのがよいのではないかと。指定該当</p> <p>男性器の輪郭が露骨であり、卑わいな感じを与えている。前半部分の拘束具使用、肛門への器具挿入等、人格を否定する性的行為を連想させる。物語を描くために必要な性描写かという疑問。性行為を描くための口実となっている。指定該当</p> <p>生の実感を与えるために性行為を行うという物語自体は、性交シーンを描く理由として説得力のあるものではあるが、男性器の表現や器具等から、描写が行き過ぎており青少年に読ませるには不適だと判断する。指定該当</p> <p>ストーリー性も心理描写もあり、内容としては悪くないと思えるかもしれないが、最初から器具を使って拘束した上で一方的に人格否定といえる行為がされている。表現の仕方も性器が白抜きで逆に卑猥に感じる。結末を過激な性描写の口実にしていると感じられる。指定該当</p> <p>修整は加えられているが、白抜きでほぼ形状がわかるものとなっている。体液描写も多く、結合部の表現もリアル。調教、監禁拘束を前面に出した描写が多く、ストーリー性も感じられない。指定やむなし。</p> <p>目がさめたら拘束されており、自由がまったくなく、器具も多数使用され、恐怖だけの世界が広がる。人格否定そのものである。男性器の形ははっきりわかる部分もある。青少年が手に取るとは思わないが、人格否定が強すぎる。指定該当</p> <p>器具を使い、また身体を拘束し、監禁するなど、反社会的な印象が強い。指定該当</p> <p>器具の使用もあり人格否定につながる。性器は白抜きしてあるが形状がわかり、性交場面も多く卑わいな感じを与える。指定該当</p> <p>性器部分は、細かい描写ではないものの、はっきりわかる。また、内容が拘束・監禁を想起させるものが続いていた。性的な描写を抜きにしても、人格否定もあり、健全な判断能力の育成などの点で青少年には不向きと思う。指定該当</p> <p>性器の修整をしっかりしている部分が多く、ストーリー性もある。器具を使うこと、人格否定的な部分は含まれてはいるものの許容範囲。ただし、性器の形状がわかるシーンのコマ数が必要以上に多いため、問題ないとははいえない。保留</p> <p>前半は性描写が多い。修整は白抜きだが、男性器の形ははっきりわかり、卑わいな印象を受ける。しかし、人格否定的な内容があるとは思えない。指定非該当</p> <p>前半において拷問による肌露出・プレイなど内容がハードなシーンが目立つが、性器の消しは許容範囲である。後半はよくある性交シーンが続く。絡みも適度に角度をつけて隠しており、局部の消しも施されている。全編大部分とは言い難い。指定非該当</p> <p>一部描写の激しい場面もあるが、全体的にストーリー性もあり、内容もそこまで卑わいには感じない。人格否定をするような内容でもない。指定非該当</p>